

～闘魂記～

「闘魂」・・・魂をもって闘おうとする気持ち

西東京市立ひばりが丘中学校第1学年

第5号 2022年 5月30日(月)

学年目標 「けじめ」と「思いやり」

「一生懸命がかっこいい ②」

ここ一か月は本当に運動会一色で学校生活が進んでいましたが、それがなくなると少し寂しい気持ちになります。それでも一つの行事を乗り越えた生徒たちは、学校は自分たちの力でよりよいものにしていくことを学んだのではないのでしょうか。さて、前回の闘魂記では、A組・B組の体育行事委員の作文を載せました。引き続きクラスを中心となって活躍した、C組とD組の体育行事委員の作文を一部抜粋して載せたいと思います。

1年C組

「優勝！みどり、C組！」。僕は「そんなわけある！？」とびっくりしました。予行で優勝できたとき、先生に「今ゆるんだら、他のクラスに優勝もつてかれるよ」と言われ、僕もその通りだと思いました。全ての競技が終わり、結果は優勝でした。その瞬間、最高のクラスC組にいてよかったと思いました。また、運動会が成功し嬉しさを感じると共に、先生たちのありがたさを感じることのできた運動会でした。

1年C組

中学校になったの初めての運動会で優勝できてとても嬉しいです。本番での中縄跳びで、女子は過去最高記録の24回も跳ぶことができました。先輩たちのソーラン節はとても迫力があり、私たちも伝統を受け継ぎ、観ている人を虜にしてしまう演技をしたいです。体育行事委員ではみんなをまとめるために大きな声を出し、「一生懸命やるから楽しい」ということを感じる事ができた運動会にできたと思います。

1年D組

運動会では、中縄跳びがうまく跳べて1位になったのがすごくうれしいです。練習のときはふざけてしまう人がいて20回以上跳べなくて心配していたけれど、みんながうまく跳んでくれてクラスが1つになり、1位をとることができました。そのおかげで準優勝をすることができました。また、体育行事委員として少しは運動会の土台をつくれたかなと思っています。

1年D組

今回の運動会を楽しくできた理由は2つあります。1つ目は、2・3年生の存在です。先輩たちが背中や行動で教えてくれたからこそ、自分たちはここまで成長することができました。2つ目は、運動会に一生懸命取り組んだことです。この2つができていなければ、運動会を楽しくできなかったかもしれません。来年度以降、自分が2・3年生になったら1年生に感謝される立派な先輩になりたいです。

「とある先生の日常」

D先生は、吹奏楽部の部活動指導で多くの賞を受賞しています。技術室前にはD先生が高校時代に作成した作品が飾ってあります（かっこいい作品です）。また、何かあったときは自分の学生時代に失敗した経験などを包み隠さず、生徒に伝え、一緒になって考えてくれます。そんなD先生は絶対に生徒を見捨てません。

吹奏楽部の生演奏で行った全校生徒の入場行進！



1964年東京オリンピックのファンファーレの曲に合わせて、校旗掲揚！！



全校生徒で行ったひばりランニング！！今でも生徒たちの迫力のある声が聞こえてきそうです。



そして、準備運動！ストレッチ！列がきれい！！！！

